

「第33回全国浄化槽技術研究集会」が秋田県で開催

令和元年10月9日(水)、10日(木)の両日、秋田キャッスルホテルにおいて(公財)日本環境整備教育センターの主催による「全国浄化槽技術研究集会」が盛大に開催されました。

9日は午後の式典においては日本環境整備教育センターの由田秀人理事長をはじめ、環境省、国土交通省、農林水産省、秋田県知事、秋田市長、開催県の秋田県浄化槽協会会長から挨拶があった。



由田理事長の挨拶と来賓の方々



式典の様子

その後、浄化槽関係事業功労者の表彰が行われた。

式典終了後は、グローバルウォータ・ジャパン代表の吉村和就氏による「浄化槽法改正と地方創生」について特別講演が行われた。

また、研究発表会では当協会の野澤佑造検査員が「小型合併浄化槽における汚泥管理による水質改善技術の研究」と題して沈殿槽の堆積汚泥を調整することで汚泥の流出を未然に防止することができ、また、放流水の透視度の改善が認められたことを報告した。

9日のプログラム終了後には懇親会が開かれ、当日の参加者及び関係者らの交流が深められた。

10日は行政担当者研究会及び浄化槽検査員研究会が行われた。

次回は大阪府で開催です。



懇親会の様子